新型コロナウイルス・熱中症対策に感染予防等ガイドライン

1　交流戦への参加について

交流戦の参加に際しては、事前に自宅等で検温を実施し、1平熱を超える発熱(37.5°C以上)、 咳、喉の痛みなどの風邪症状、倦怠感、呼吸困難、嗅覚や味覚の異常、体が重く感じる、疲れ やすい等の症状や、2同居家族や身近に感染が疑われる人がいる場合、3過去 14 日以内に政 府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者と の濃厚接触がある場合などは、参加を控えていただきますようお願いいたします。

2　参加者の把握

交流戦への参加者につきましては、選手、指導者及び保護者すべての者について、参加者の把握をお願いいたします

特に参加者名簿の備付け、提出は求めませんが、各チームにおいて確実に把握していただいますようお願いします。

3　会場内(練習場含む)でのマスク着用

会場内(練習場含む)では、練習中、試合を除き、全員マスクの着用をお願いいたします。

4　会場内（練習場含む）でのソーシャルディスタンスの確保

会場内（練習場含む）では、ソーシャルディスタンスの確保に努めてください。

(1) 試合中などベンチでも間隔を空けて座るとともに、マスクを着用し会話を控える。

(2) 交流戦時においてコーチ、選手間、審判団との握手は実施しない。

(3) 円陣は組まない、得点時のハイタッチ、抱擁は行わない。

(4) ピッチ上でチームメイト、審判員と会話をする際も互いの距離について配慮する。

(5) 保護者間においても観戦時等には、ソーシャルディスタンスの確保に努める。

5　試合開始前後の整列等について

試合開始前及び終了後の選手の整列は行わないこととし、試合終了後のベンチへの挨拶も 行わないこととします。

なお、試合開始前に主審と両チームのキャプテンのみによるコイントスを行い、他の選手は ベンチから直接ポジションにつくこととします。

6　新型コロナウイルスと熱中症対策

新型コロナウイルス感染予防を行いながら次の事項に留意しながら熱中症対策を行ってください。

(1)ドリンクを冷やすためのドブ付け、タオル等を冷やすためなどの水・氷を溜めたクーラーボックス・バケツは共有しない。

(2)ボトル、タオルについても共有しない。

(3)ベンチには、暑熱対策としてテントを設置する。

7　その他留意事項

(1)会場内(ピッチ内でも)では、咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない。

(2)口に含んだ水を吐かない。

(3)練習、試合を含めてビブスの使い回しはしない。

(4)ゴミを収集する際は、マスクや手袋を必ず着用する。

(5)ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、廃棄。

(6)こまめな手洗い(30 秒以上)、アルコール等による手指消毒を実施すること(会場内には アルコール消毒液の備付けはありませんので、各チームでご準備願います。)

8　報告等

交流戦終了後、14 日以内に感染が疑われるような症状が出た場合には、主催者に対して報告(連絡)をお願いします。

2020.8.10

新型コロナウィルス感染予防・熱中症予防等ガイドライン

北播磨サッカー協会４種委員会

Ⅰ 北播磨大会（リーグ戦を含む）での対応

1 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる

・体調が良くない場合(例:発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常などの症状がある場合)

・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合

・過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

2 会場ではマスクを着用する

3 咳エチケットに十分配慮する

4 手洗い、手指消毒をこまめに行う

5 社会的距離（できるだけ２m、最１m）を確保する

6 ３密(密閉、密集、密接)を避ける

7 健康チェックシートを提出する（選手・指導者）

8 無観客試合とする（保護者は駐車場までの送迎のみとする）

9 その他 北播磨４種委員会が示す注意事項を遵守すること

感染対策確認内容

1 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手はしない

　コイントスは主審及び両チームのキャプテンにより行い、他の選手はベンチから直接ポジションにつくこととする

2 試合後の両チームベンチへの挨拶はしない

3 試合開始前の円陣はしない

4 倒れた選手に手を貸さない

5 得点時にハイタッチをしない

6 口に含んだ水を吐かない

7 ボトルを共用しない

8 水・氷を溜めたクーラーボックス・バケツを共用しない

9 タオルを共用しない

10 ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する

11 ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない

12 ベンチではマスクを着用し、会話を控える

チームベンチ

1 社会的距離(できるだけ２m、最低１m)を保つこと

2 一日複数の試合が行われる場合は、入れ替え時に消毒液でベンチシートなどを拭き取る

3 ベンチの選手及びチーム役員は、マスクを着用する

但し、テクニカルエリアで指示を送る際は、マスクを外してよい

競技中については、プレー及びアップ時以外はマスク着用とする

4 不要な会話・接触は控える

高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、

屋外で人と十分な距離(少なくとも２m以上)が確保できる場合には、マスクを外してよい